

谷口まさのり

所沢市政レポート

2021年3月議会／
コロナ／脱炭素 編

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111／FAX：04-2941-5112／tani.eco@dream.ocn.ne.jp

FB、インスタ、Twitter更新中!『谷口雅典(まさのり)』で検索下さい!

「始発男!」は
子どもにツケを
残さない!



- ① 『新型コロナウイルス ワクチン接種』で、各種の対策を訴える!
- ② 『ひきこもり対策』半歩前進か? / 『生徒の悩み』対応についての提言を行う。
- ③ これからも地球で暮らしませんか? 『(脱炭素) ゼロ炭素』社会の実現に向けて
- ④ 議員ボーナス、『2015年度の自分基準からの差額分』(164,550円/2020年度)は受け取らず、法務局へ供託

今回の3月議会では、私、谷口まさのりは予算常任委員会メンバーとして、新年度(2021年度)の事業について様々な角度から発言し、審議に臨みました。(当初予算:一般会計で1,074億円、特別会計・企業会計を加えた総額1,949億5,518万4,000円を修正可決)

また、「質疑及び一般質問」では、『気候危機』(脱炭素等の自然エネルギー拡大)や『孤独対策』(今回内容は割愛)等について、提言や新たな課題を提起致しました。(以降の内容は5月7日の時点の状況を基にしております。)



◆ワクチン接種(新型コロナウイルス)

昨年12月議会より、私が訴えてきた、ワクチン接種を着実に進める為の所沢市側での実施体制整備については、本年2月に保健センター健康管理課に「新型コロナワクチン対策室」が設置され、更に4月からは「新型コロナワクチン対策室」の職員を増員し、一層の体制強化を図り、現在、鋭意、ワクチン接種を進めております。

また予算委員会において、会派として、『ワクチン接種は先ずは安全第一で行うことが最重要であり、副反応の1つである、重篤なアナフィラキシーショックへの対応を万全にしながら着実に進めて頂きたい。また分かりやすい広報に努め、接種開始後の様々なケースに柔軟に対応して頂きたい。』旨を意見表明致しました。



◆引きこもり対策

私は過去より、『引きこもり対策』についての提言を行って参りました。新年度の事業(就労準備支援事業・他)では『引きこもり対策』として、新たにアウトリーチ支援(相談を待つのではなく、こちらから出向いて行く支援)が予定されております。引きこもり対策では個別事情を理解しながらの粘り強い取り組みが必要ですが、『小さな半歩』として捉えております。

◆スクールカウンセラー学校派遣事業 (生徒の悩み等の相談対応)



児童生徒の悩みを対面で相談対応する事業ですが、対面での相談自体を高いハードルと感じる生徒が一定数いると考え、私は、埼玉県『LINE相談事業』の存在を生徒に直接的に周知することを提言致しました。

◆これからも地球で暮らしませんか？
『脱炭素』社会の実現に向けて！
(自然エネルギーの新規電源開発への関与を提言)



新型コロナウイルス感染症は、世界が一丸となって解決せねばならない喫緊の問題であり、それと同様に『地球温暖化』といった「気候危機」も、乗り越えていくべき重大な課題であります。

私、谷口まさのりは、1997年の『地球温暖化防止京都会議』に参加(オブザーバー)する等、今から27年前の1994年から地球温暖化防止の分野で活動して参りました。

遅ればせながら日本政府は「2050年までのCO2排出実質ゼロ」を昨年10月に宣言し、今回の4月下旬の気候変動サミットで、先ずは2030年度に2013年度と比較して温室効果ガスの『46%』削減の目標を宣言しました。



私は、ようやく日本政府は本気になって、この問題を進める意志を示したものと捉えております。今後、脱炭素社会の実現に向けて、日本のみならず、世界が大きく変革していく流れになります。

(質疑及び一般質問から)

詳細は所沢市議会HP(3月10日)ご参照下さい。



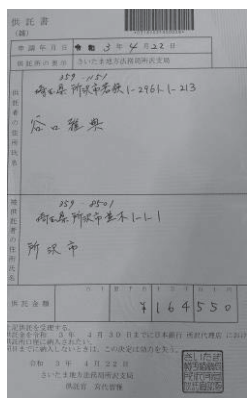
←始発男!の谷口

2050年の脱炭素を達成する為には、この数年レベルで、『爆発的に、爆発的に!』自然エネルギーを増やしていかなければならない。所沢市として市域を越えて、また他の自治体と連携して、太陽光発電や(洋上)風力発電など、電源開発に更に何らかの形で関与していく方法があるのでは?

藤本市長:

今はまだ計画はないが、洋上風力と組むことも含め、例えば所沢市や市民が資金面で、発電可能地域の自治体等の(発電)事業を応援し、一緒に動かしていくことはとても有効だと考えている。(谷口の)意見も十分に参考にして、何ができるかを含めて行動していきたい。

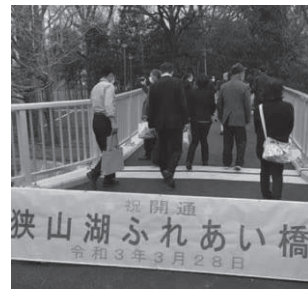
↓ボーナス差分(2015年度の4.15ヶ月を自分基準とし、それを越える0.3ヶ月分)を供託致しました。(理由詳細は谷口まさのり未来ネットワークHPの2017年5月26日付のレポートVol20をご覧ください。)



←左記の画像は不鮮明ですが、法務局へ、支払い税額分を考慮した後の164,550円を供託(預けること)致しました。(公職選挙法の寄付行為に該当しなくなった時点で、所沢市へ返還の所存です。)

↓狭山湖への『人道橋』完成!

私は、人道橋計画後の暫定的な交通安全対策を提言し、車道への注意喚起の路面表示等を実現させて頂きましたが、今般、ようやく抜本的な対策(車道を歩くことなく対面へ渡れる。)が実現致しました。



谷口まさのり プロフィール

- ◆1965年(昭和40)北海道生まれ(留萌市) 埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業
- ◆環境や省エネ企業に15年間在籍・1997年の『地球温暖化防止 京都会議』に参加
- ◆2011年4月所沢市議選に初当選、現在3期目。無所属『改革派!』として活動中!
- ◆趣味等: スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カラオケ、カブトムシ採り、大のビール党、日課はメダカのエサやり
- ◆環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)/認知症サポーター
- ◆『始発男』『始発の谷口』と呼ばれております。

始発! 前から、駅では、過去よりレポートを配布しております。

